



感染症予防のため、職員・生徒が丸となって取組中！

本校では、生徒が安全・安心に過ごせるよう、感染症予防の取組を職員、生徒が丸となって行っています。教育委員会が作成した「保健マニュアル」に基づき、登校時の健康チェックを丁寧に行うとともに、校内の消毒の徹底、新しい生活様式を踏まえた学校生活を送るための掲示物の工夫など校内環境整備に努めているところです。本校が再び休校にならないためにも、私たちは、引き続き最大限の注意を払わないといけません。これまでになかった対応で、先生方の苦勞、生徒の皆さんの我慢の日々が続いています。保護者の皆様におかれましても登校前の検温など、お子様の健康管理にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

◇ 登校時の健康観察と密集・密接にしない工夫



登校したらずぐに、南門前のピロティと北門前の体育館横の2か所で、複数の職員が生徒の健康観察チェック表を確認しています。3密を防ぐため、1メートル以上の間隔で目印となるコーンを置き、生徒は待ちます。職員はマスクとフェイスガードを着用し、確認に当たっています。自宅で検温を忘れた、記入漏れ、保護者印なし等の生徒は、再度ここで検温し、丁寧に体調の問診を受けるなどしています。よりスムーズな確認となるよう、チェック表をクリアファイルに入れ、生徒は確認時にそれを素早く取り出すためにカバンを前に抱くなど工夫が見られるようになりました。現在は検温忘れや記入漏れがほとんど無くなり、混乱なく順調に健康観察が行われています。なお「新しい生活様式」として、自身の発熱や体調不良を含め、ご家族に発熱などの風邪症状が、「ここ1週間程度の内に、又は現在」ある場合には、登校せず、医療機関を受診または医療機関へ相談していただき、その結果を学校へお知らせいただければと思います。（この場合、欠席にはなりません）



集中下足箱を通過した後、2年生は東階段を使用し動線を分けています。下足箱周辺、階段等に職員を配置し、3密を避けるよう呼びかけを行っています。生徒は教室へ入る前に必ず手を洗い、その後、再度、教室で担任が健康観察チェック表を確認するようにしています。



密集・密接が最も起きやすい場所の一つが集中下足箱です。下校時には、生徒の間隔を空けるため、職員が手前と奥、さらに外に待機し誘導しています。生徒の中には、後ろに並んでいる人のために、あらかじめ上靴を脱いで待機したり、下靴を取ったら急いでその場を離れ、広い場所で靴をしっかりと履き直したりするなど、周りの仲間を気遣う素晴らしい動きがみられるようになりました。また、帰る前に両手を広げ、「これぐらいかな？」と間隔を取ろうとしている生徒もいます。登下校時、休み時間などの行動で、人との距離がしっかりと確保できているでしょうか。「ソーシャルディスタンス」という言葉を聞いたことがあると思います。新型コロナウイルス感染症拡大防止として、生徒の皆さん一人一人が実行できる、「思いやりの距離」です。分散登校になった現在、この登下校の対応を午前と午後、日に2回、計2時間行っています。

◇ 校内掲示



手を洗う、マスクをつける、距離を開ける、換気を行うことを習慣づけ、徹底して行えるようにするために、「熊西中学校思いやり四か条」※を教室内や出入り口扉など、目につきやすい場所に掲示しています。また、くまモンやキティ、ていタンなどキャラクターを活用した掲示物により、親しみをもって取り組めるように工夫しています。本校は校名に「熊」が付くので熊がイメージキャラとして多く使われています。 ※学校ホームページに掲載しています



常に距離の感覚をもたせるため、1mと2mのテープを貼っています。

さまざまな所に「熊西中学校思いやり四か条」に関するものや3密を防ぐための掲示が施されています。呼びかける言葉は？ 目につきやすい場所は？ など、全職員がアイデアを出し合い、掲示しています。



手洗い場、トイレ、下足置き場前など、生徒が密集しやすい場所には間隔を空けるためのマーキングを施したり、廊下や階段に右側通行を促す印を付けたりすることで、密接になる場面を防ぐ措置を取っています。休み時間などは、このような密になりそうな場所に職員が付き、指導を行っています。

◇ 消毒作業



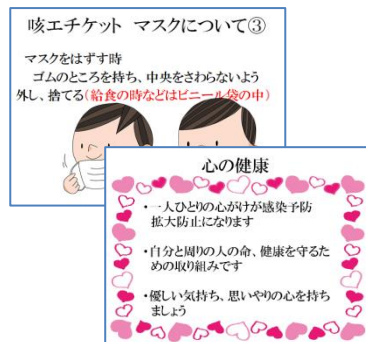
生徒が下校した後、教室の机、窓のさんや鍵、扉の取っ手、照明やリモコンのスイッチ、階段の手すり、手洗い場の蛇口、トイレ洗面台、便器、理科の実験など実技教科で使う道具など、生徒が触るあらゆる物を消毒します。分散登校の午前と午後で生徒が入れ替わる期間は、この作業を2回行う必要があります。教室や特別教室、図書室などの入り口には、必ず消毒液が設置され、生徒は手洗いと合わせ二重に消毒を行っています。





保健体育の授業では、体育館の使用後は毎時間フロアを消毒しています。更衣室は男子が教室を、女子が武道場のフロアを使用しています。女子の更衣場所は共用スペースになるため、更衣後は毎回消毒を行っています。現在、体育の授業日は体操服登校をしているため、授業後のみ更衣場所を使用するようにしています。そうすることによって、毎時間ごとの消毒作業を可能にしています。

◇ 感染症予防教育



学校再開初日に、各学年において、養護教諭が自ら作成した感染症予防プレゼンテーションを用いて感染症予防教育を行いました。安全・安心な学校生活を過ごすために、今までとは違う様々なルール、取組について、実演を交えながら丁寧に説明がなされました。

◇ 授業



①図書室前で手を消毒してから入室する様子 ②保健体育の授業では広い空間を確保しマイクで指導を行います ③密を避け使用できるパソコンを減らしての PC 授業の様子 ④図書室を使用する際も空間を十分に確保します ⑤教室の授業では、窓を開放し、エアコンや扇風機を併用しています ⑥実験など実習や実技教科では道具の共用を避け、使用後は消毒します

5月25日(月)より午前中の3時間が再開しました。感染拡大防止策として、各列の机を前後ろにずらしています。6月5日(金)からは再び分散登校となり、学級が午前と午後に分かれての2時間の授業になりました。移動教室での授業では、入室前に密にならないよう間隔を開けたり、手の消毒を行ったりしています。授業では窓を開放しエアコンや扇風機も併用して空気の入れ換えを行います。各特別教室では可能な限り空間を確保するための工夫をそれぞれ行っています。今はまだ話し合いなどペアや班での交流活動ができないので、教員は安全・衛生面を最優先にして全授業を作り直し、毎時間工夫しながら行っています。